

株式会社ミライロ（東証グロース:335A）



会社概要

1. 会社概要

p2

2. 2025年9月期 第2四半期決算ハイライト

p26

3. 市場環境と成長戦略

p34

ミライロについて①

代表取締役社長
垣内俊哉



企業理念



社 名	株式会社ミライロ
設 立	2010年6月
事 業	①障害者に向けたデジタルプラットフォーム「ミライロID」の運営 ②法人や自治体に向けたユニバーサルデザインのソリューション提供
拠 点	大阪本社（大阪市淀川区西中島三丁目8番15号） 東京支社（東京都品川区東五反田五丁目26番5号）

ミライロについて②

受賞歴

2018年02月	Japan Venture Awards 2018 経済産業大臣賞 受賞
2018年02月	関西財界セミナー賞 2018 特別賞 受賞
2020年11月	J-Startup KANSAI 選定
2021年10月	デジタル社会推進賞
2022年01月	財界・経営者賞 受賞
2022年01月	経済界・金の卵発掘プロジェクト2021グランプリ 受賞
2022年10月	グッドデザイン賞 受賞
2022年11月	PRIDE指標 最高評価 ゴールド 6年連続受賞
2023年04月	知財功労賞 特許庁長官表彰 受賞
2023年06月	日本スタートアップ大賞2023 厚生労働大臣賞 受賞

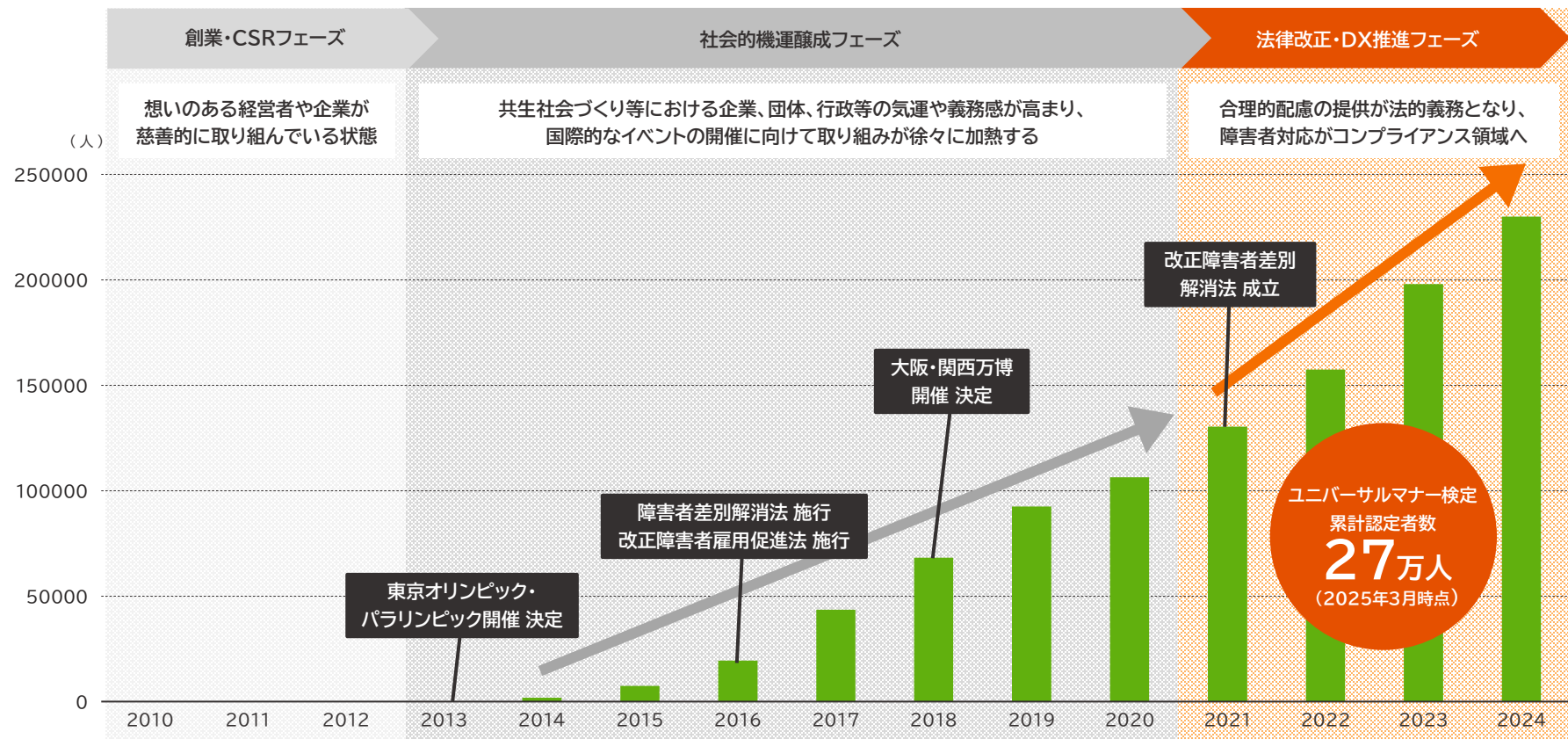
関連団体

一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（ユニバーサルマナー検定の認定）
民間事業者による合理的配慮推進委員会（運営事務局）

主な株主（五十音順）

大阪市高速電気軌道株式会社
花王株式会社
京王電鉄株式会社
さくらインターネット株式会社
住友林業株式会社
西武鉄道株式会社
株式会社ゼンリンデータコム
東京海上日動火災保険株式会社
日本生命保険相互会社
三菱地所株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
ヤマトホールディングス株式会社

ミライロについて③

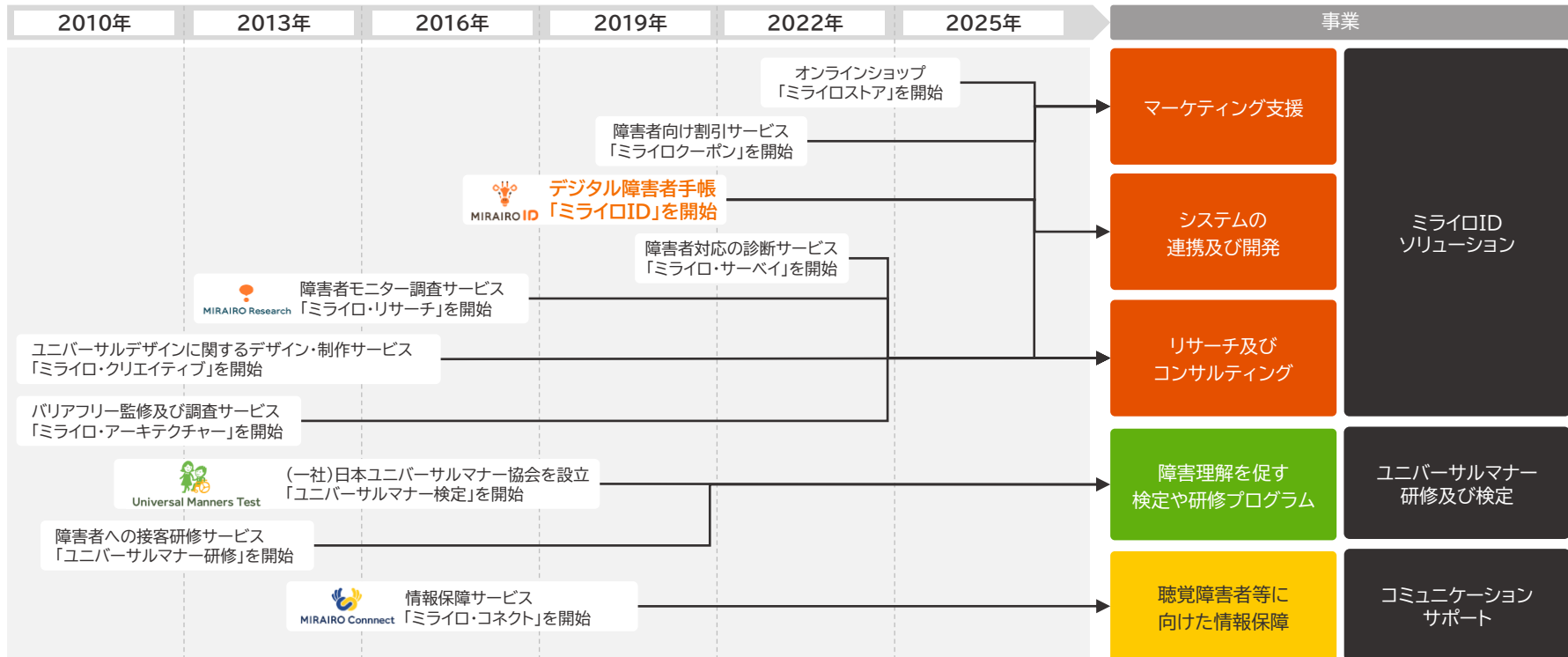




社会に存在する「環境・意識・情報」のバリアを解消し、価値に変える

ソリューションの変遷

創業以降、障害のある当事者視点を活かし、環境、意識、情報のバリア解消に繋がるソリューションを生み出し続ける。
ミライロIDをリリース後は、障害者プラットフォームを活かした事業モデルに集約を進め、より高付加価値な事業に変化。



ソリューションの特徴と価値

障害のある顧客や従業員の対応など、社会的なバリアの解消に向けた複合的なソリューションを保有。
ミライロIDによる障害者プラットフォームを軸に、専門的知見やシステムも駆使することで高い限界利益率を実現。

事業		特徴	提供価値
ミライロID ソリューション	マーケティング支援	・ 障害者プラットフォームへの広告やクーポンの配信、製品の販売などが可能 ・ クローズドマーケットに対して、独自の割引設定やパーソナルデータを活かしたアプローチが可能	・ 企業姿勢の発信やブランディング ・ 潜在的な市場や顧客の新規開拓・売上増
	システムの 連携及び開発	・ デジタル化された障害者手帳情報を用いたAPI連携や連携に向けたシステム開発を実施 ・ 従来紙での対応が必須であった障害者情報の認証や割引対応、連携によるアプリ間送客も可能	・ オペレーションコストの低減 ・ デジタルを用いた法令遵守対応
	リサーチ及び コンサルティング	・ 国内最大規模の障害者データを活かした定量・定性的なリサーチやコンサルティングを実施 ・ 法定対応に対する現状把握のためのサーベイや環境整備に向けたコンサルティング対応	・ 潜在的なニーズ把握 ・ 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応
ユニバーサルマナー 研修及び検定	障害理解を促す検定 や研修プログラム	・ 障害理解において国内最多となる23万人の認定者数※2と高い満足度の検定プログラム ・ 業界特化型など独自のプログラムを開発 ・ eラーニングや現地派遣など多様な受講形式	・ 行動変容によるCS向上や雇用率の改善 ・ 法令違反や風評被害等のリスク低減
コミュニケーション サポート	聴覚障害者等に 向けた情報保障	・ 遠隔での手話通訳サービスや手話・文字通訳者の現地派遣など、多様な情報保障サービスを提供 ・ 専門性を有する多数の手話通訳者や文字通訳者が在籍	・ 聴覚障害者の仕事のパフォーマンス向上 ・ 事前的改善措置 ※1(環境整備)への対応

※1 事前的改善措置とは、施設のバリアフリー化、意思表示やコミュニケーションを支援するためのサービスや人的支援、情報アクセシビリティの向上など、環境の整備のことです。

※2 当社調べ。人数は2024年12月時点の累計認定者数。

障害者と社会を繋げるライフプラットフォーム「ミライロID」



障害者手帳を「紙」から「デジタル(ミライロID)」へ

障害者の移動や生活をもっと便利に、もっと自由に。



手帳代替



情報配信



ECストア



クーポン



マップ



チケット



情報連携

事業者の課題



292種類のフォーマット

事業者・障害者の課題



紛失や個人情報の漏洩リスク

障害者の課題



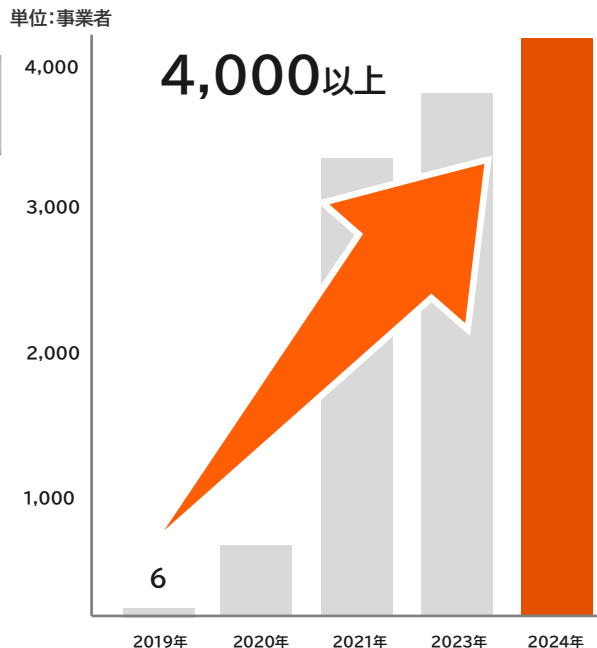
手帳提示による心理的負担

社会との連携により広がる共感の輪



マイナポータル連携により公的な信頼を得られたこと等がきっかけとなり、鉄道をはじめとする障害者割引を有する企業での導入が急拡大。継続的に官公庁とも連携し、アプリの認知を拡大。

▼導入事業者数の推移



▼ミライロIDのこれまでの歩み

- 18年7月 障害者手帳の電子化に向けた検討を開始
- 19年1月 国土交通省:交通事業者への現物確認不要の通知が発出
- 19年7月 ミライロIDのiOS、Android版を同日リリース
- 20年6月 内閣官房:マイナポータルとミライロIDが連携
- 20年6月 内閣官房:事業者へのミライロIDの導入推奨の通知が発出
- 20年10月 鉄道局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
- 21年3月 JR各社を含む全国鉄道会社123社がミライロIDを採用
- 21年4月 自動車局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
- 21年7月 障害者割引価格のオンラインチケットの提供を開始
- 21年7月 内閣官房:事業者へのオンライン予約の障害者対応を要請する通知が発出

ミライロIDのユーザー数と特徴

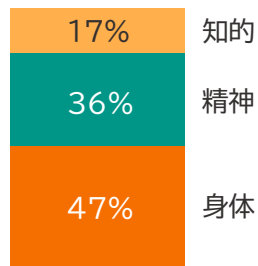
2024年にユーザー数は40万人を突破し、毎月約1万人のペースで増加を続ける。

アクティブな20～50代のユーザーが多い傾向にあり、外出頻度が高く、企業に務める障害者の割合も高い。

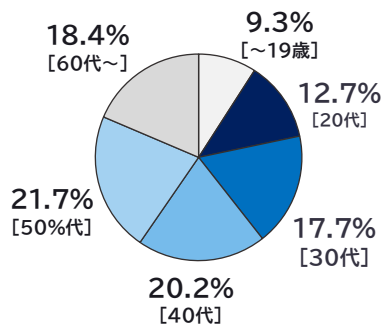
▼ユーザー数の推移



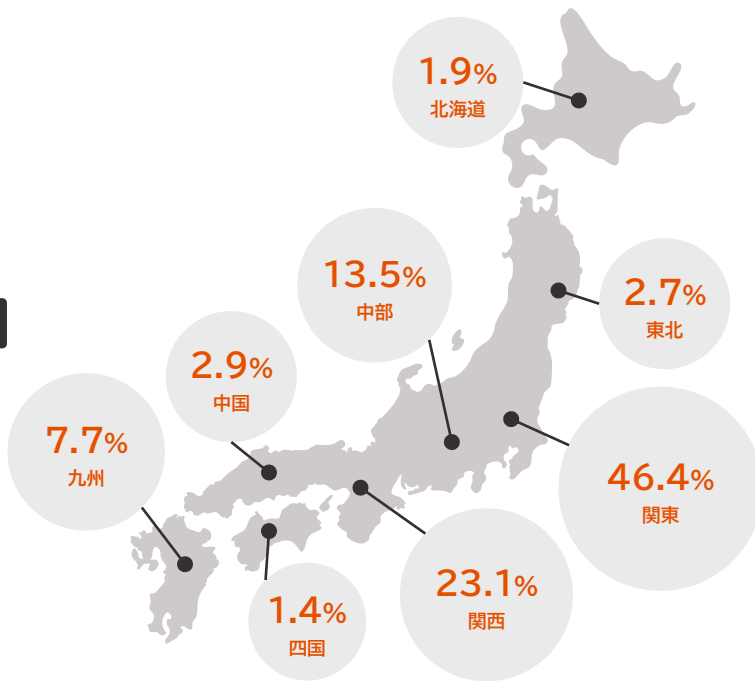
手帳種別



年齢



エリア分布



ミライロIDの3つの強み

類似アプリが存在しない 大規模な障害者 プラットフォーム

- マーケティング活用の広がり
- 先行した行政や企業との連携、特許による参入障壁の高さ

デジタル上のあらゆる 障害者対応の 必須ツール

- 障害者の本人認証の簡素化
- 障害者割引決済の円滑化

創業来培ってきた 専門的ソリューション との連動

- 専門的知見と当事者データに基づくコンサルティングやシステム開発

ミライロIDソリューションについて

デジタル障害者手帳「ミライロID」のプラットフォームやデータベースを基盤としたソリューションを提供。
アプリによる直接的サービス提供、システム連携によるサービス提供、データ等を基にしたコンサルティングを実施。



マーケティング支援の取り組み事例



- 1 株式会社ナイキジャパン
ユーザー限定の先行販売や
クーポン提供



- 2 株式会社日本HP
障害者手帳特別割引の適用



- 3 上新電機株式会社
家電購入のポイント還元や
クーポン提供



- 4 株式会社ファミリーマート
創立40周年に合わせた
クーポン提供



- 5 ロイヤルホールディングス株式会社
「ROYAL DELI」の
ミライロストアへの出品



- 6 株式会社ジンス
ECサイトと店舗での
クーポン提供

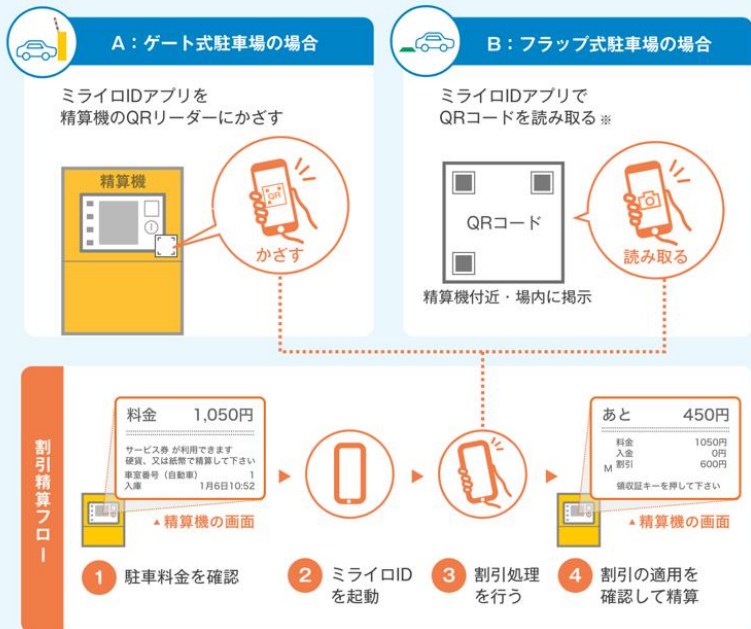
多くの企業がDE&Iやサステナビリティも意識したマーケティングやブランディングへの取り組みを強化

システムの連携及び開発の事例



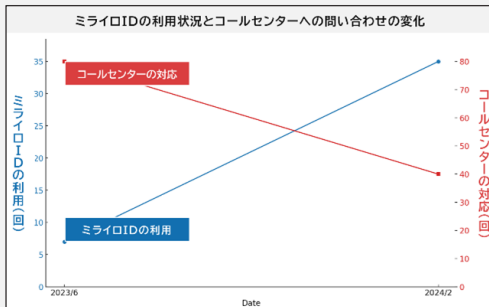
障害者手帳の情報を保有している利点を活かし、障害者割引に関する「決済」の円滑化を実現。ミライロIDと精算機管理サーバーとの連携により、障害者手帳情報を自動適用し、割引料金での支払を可能に。

ミライロIDと駐車場精算機の連携イメージ



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

- これまで目視確認や遠隔で確認をすることで起きていた不正利用の防止や対応時間の削減
- ミライロIDの利用増加に伴い、コールセンターへの問い合わせは50%減少
- 自治体からの希望する声も増加しており、他の駐車場管理事業者との連携も進行中



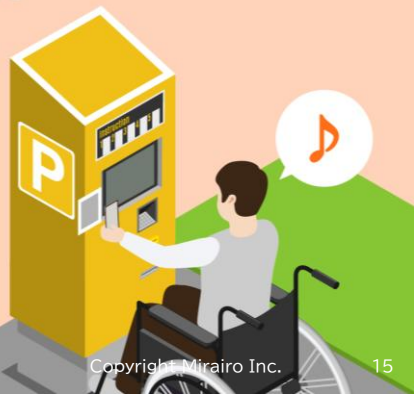
BEFORE

係員がいないと
障害者割引を
受けられない



AFTER

無人でも
障害者割引を
受けられる



システムの連携及び開発の事例

アプリ間の連携により、障害者割引に対応したチケット購入などの決済における課題の解消、独自の割引適用によるマーケティングやブランディング活用、職場における障害者情報の管理の円滑化など、多岐にわたる活用事例を創出。



- JR四国のチケットアプリ「しこくスマートえきちゃん(スマえき)」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、**障害者割引を適用したきっぷの購入が可能に**。

鉄道事業者初！ミライロIDとの連携により「JR四国のチケットアプリで障害者割引きっぷの購入が可能に！2024年11月18日よりサービスを開始します

2024.11.13(水) 全国9社、ミライロID



- デジタル社員証の社員情報とミライロIDの障害者情報の紐づけにより、働きやすい職場環境づくりを実現。
- 障害のある社員への**福利厚生や職場での孤立化の防止につながる取り組みへ**。

デジタル障害者手帳「ミライロID」と社員IDを連携し、障害者手帳の効率的な管理を実現！一障害のある社員が働きやすい環境づくりを推進します

2024.07.20(水) 全国9社、ミライロID



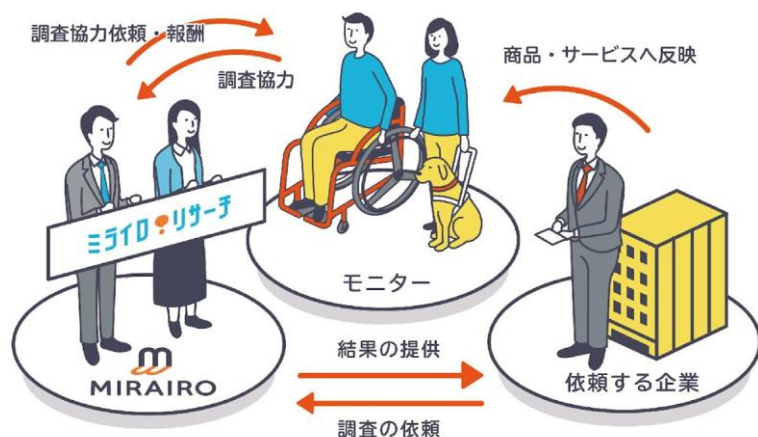
- 日本コカ・コーラが提供する公式アプリ「Coke ON」とミライロIDの連携を実現。
- アカウント連携をすることで、「**Coke ON 障がい者割引**」の適用が可能に。



リサーチ及びコンサルティング

ミライロIDの障害者ネットワークを活かしたリサーチ及びコンサルティングを提供。
製品やサービスの開発、市場調査など、目的や規模感に応じた様々な調査が可能。

▼サービスイメージ



在籍モニター例

肢体不自由

- 程度 (下肢障害、上肢障害など)
- 状況 (等級・先天性／後天性など)
- 補助器具 (手動／電動車いす・装具など)

視覚障害

- 程度 (全盲・弱視など)
- 状況 (等級・先天性／後天性など)
- 補助器具 (白杖、単眼鏡、盲導犬など)
- 利用機器 (iPhone / Android など)

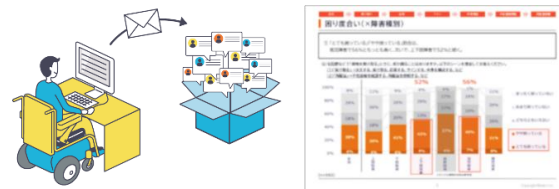
聴覚障害

- 程度 (全ろう・難聴など)
- 状況 (等級・先天性／後天性など)
- 補助器具 (補聴器、聴導犬など)
- 手段 (手話、口話、筆談など)

▼リサーチ手法

定量調査(Webアンケート)

数値や量で表せるデータを集計して分析する方法



定性調査(インタビュー・ワークショップ等)

言動などの質的データを集計して分析する方法



障害者の声を企業や社会へ届けると同時に、障害者の社会参画に貢献

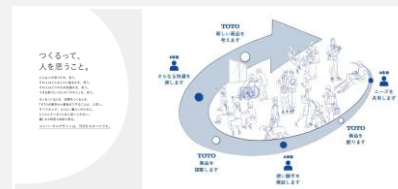
リサーチ及びコンサルティングの取り組み事例



- ① 株式会社ローソン銀行
ATMの新型機を開発



- ② ロート製薬株式会社
製品のユーザビリティ改善を実現



- ③ TOTO株式会社
新しいUDコンセプトを開発



- ④ 株式会社ナイガイ
くつした開発のイノベーションを実現



- ⑤ コクヨ株式会社
ダイバーシティオフィスの開発を実現

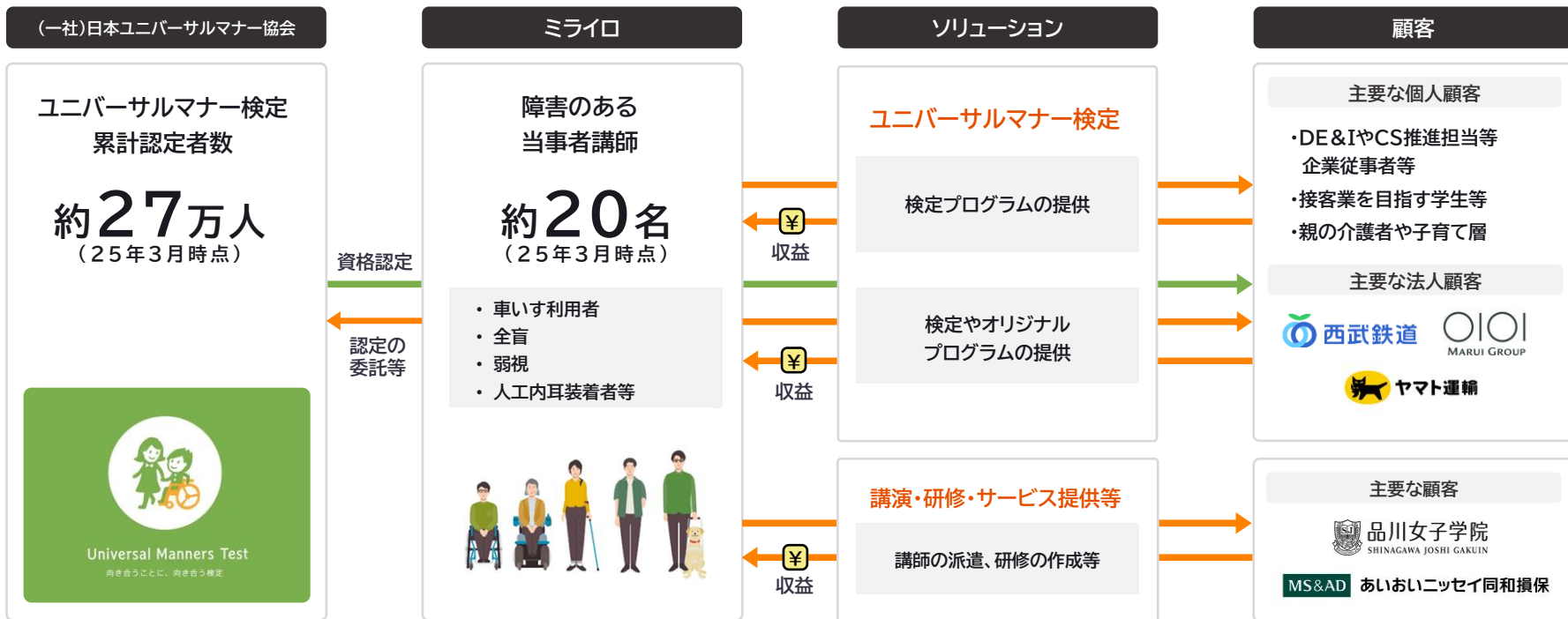


- ⑥ 野村不動産株式会社
施設のユニバーサルデザインガイドを策定

ニーズが反映されてこなかった人々も巻き込んだ製品開発や施設づくり

ユニバーサルマナー研修及び検定について

障害のある当事者の視点から、障害者など多様な方々に対する理解促進や対応方法のレクチャーを実施。
法律や当事者心理の理解による接客時や職場のリスク軽減に加えて、資格を企業姿勢の発信としても活用が可能。
プログラムや講師への高い満足度により、検定売上の6割が定期発注(過去2事業年度以内の継続発注)によるリピート売上。



ユニバーサルマナー検定について

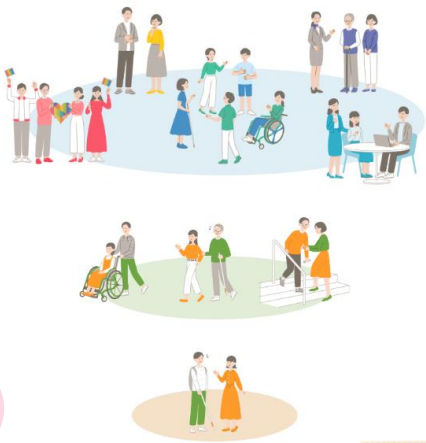
障害理解の促進と行動変容を促すプログラム

- 「ユニバーサルマナー」とは、多様な方々へ向き合うためのマインドとアクションのことを指す当社が作成した造語
- 「ハードを変えることができなくても、ハートは今すぐ変えられる。」というコンセプトを軸に、障害者や高齢者など、多様な顧客や従業員との向き合い方を伝えるプログラムを展開
- 検定プログラムは、3級～1級のカリキュラムに加えて、業界や職種に合わせたオリジナルのプログラム作成も実施

満足度 98% ※

認定者数 27万人
(25年3月時点)

導入企業数 1,000社
(25年3月時点)



ユニバーサルマナー検定3級の概要

ユニバーサルマナーとは／人との違い／障害の社会モデル／障害者や高齢者の生活・心理／基本姿勢

障害は、人ではなく環境にある

障害者とは、障害を持つ人だけではなく、モノや環境が生活の障害になっている人。

課題を解決するには自身の側に変化が必要なものに気づく

押し付けではなく、選択技を！

障害のある当事者から多様な人々との向き合い方を学ぶ

100点満点を目指さない

常に、歩み寄っていく姿勢を持ち、できることも、できる範囲で行動する。

一歩踏み出すことの不安を取り除き心のブレーキを外す

自分とは違う誰かのことを思いやり、適切な理解のもと、行動すること。

特別な知識や、高度な技術は不要。誰もが身に付けていて、当然の領域。

違いの理解が進み、高い確率で行動変容が起きる

目的	社内の意識醸成と行動変容
時間	1.5時間
形式	eラーニング／オンライン／対面
講師	障害のある当事者講師
対象	すべての方(役員／管理職／従業員)
費用	受講料:5,000円(税別)/1人 運営管理費:5,000円(税別)/1回

※ 個人向けユニバーサルマナー検定の受講者約5,500名(2023年10月～2024年6月受講者)に対する当社アンケートにおける満足度の回答結果

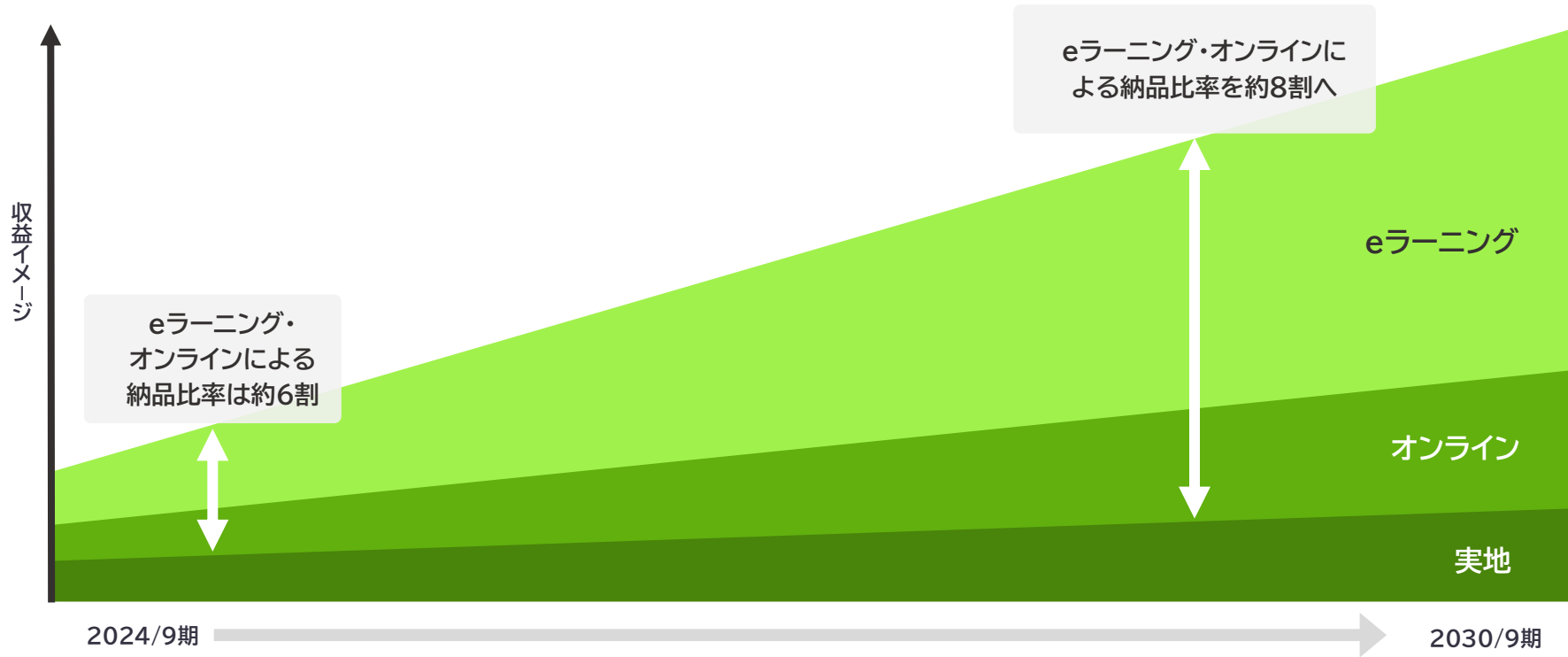


ユニバーサルマナー検定の導入企業 ※2025年3月時点

銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社りそなHD 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ	自動車 トヨタ自動車株式会社 三菱自動車株式会社 日野自動車株式会社 ダイハツ工業株式会社 株式会社ブリヂストン	百貨店 株式会社三越伊勢丹HD 株式会社高島屋 株式会社大丸松坂屋百貨店 株式会社阪急阪神百貨店 株式会社丸井グループ	メーカー 花王株式会社 コクヨ株式会社 株式会社ワコール 株式会社マダモ ソニーマーケティング株式会社
生命保険 第一生命保険株式会社 日本生命保険相互会社 明治安田生命保険相互会社 住友生命保険相互会社 大同生命保険株式会社	鉄道 西武鉄道株式会社 京王電鉄株式会社 大阪市高速電気軌道株式会社 阪急電鉄株式会社 京阪電気鉄道株式会社	コンビニ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 株式会社ローソン 株式会社ファミリーマート	製薬・薬局 塩野義製薬株式会社 ウエルシア薬局株式会社 株式会社コクミン 株式会社メディカルシステムネットワーク
損害保険 東京海上日動火災保険株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 SOMPOホールディングス株式会社 アクサ損害保険株式会社	不動産・住宅 三井不動産株式会社 三菱地所株式会社 東急不動産株式会社 大和ハウス工業株式会社 住友林業株式会社	飲料・食品 アサヒビールHD株式会社 サッポロHD株式会社 森永乳業株式会社 ロイヤルHD株式会社 株式会社モスフードサービス	その他 株式会社ファーストリテイリング 株式会社ダスキン セコム株式会社 ヤマト運輸株式会社 鴻池運輸株式会社

ユニバーサルマナー検定の提供形式別の売上割合

eラーニングとオンラインを合わせた売上比率が24/9期は6割を超える。階層や職種に合わせ、提供形式を柔軟に対応しつつ、中長期的にはシステムによる納品比率の増加により、さらなる利益率の向上を目指す。



ユニバーサルマナー研修及び検定の取組事例



- ① 住友林業株式会社
全社員でユニバーサルマナー検定を取得



- ② ヤマト運輸株式会社
グループ独自のオリジナル検定を共同開発



- ③ 西武鉄道株式会社
鉄道事業者向けのオリジナル検定を共同開発



- ④ 株式会社東京ドームホテル
全スタッフの意識改革を実現

ユニバーサルマナーを通じて、多様性理解と行動変容を起こす

コミュニケーションサポートについて

聴覚・言語障害者の方々が社会参加しやすいように、手話や文字通訳等の情報保障サービスを提供。
システムを用いた遠隔での通訳対応に加えて、イベント、会議、研修など、様々な場面への通訳者の派遣も実施。



¥ 収益分類: ①スポット収益(単発の通訳者派遣、初期費用等) ②リカーリング収益(サービス利用料等) ③トランザクション収益(従量課金等)

情報保障の提供

聴覚障害者の53%が企業の情報保障に不満を持っており※、手話や文字による情報保障を提供することで、聴覚障害者の希望と企業対応におけるギャップを解消し、希望に沿った情報保障を提供することが求められる。



● 聴覚障害者の希望する情報保障と企業対応のギャップ

コミュニケーション手段	聴覚障害者の希望	企業の対応
手話通訳	59.3%	27.2%
自動音声認識システム	59.3%	39.5%
文字通訳	39.5%	8.6%
筆談	39.5%	56.8%
口話	23.5%	49.4%

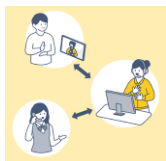
cf.ミライロ「聴覚障害者の職場環境に関するWebアンケート調査結果」令和3年

内容



手話・文字通訳派遣
(導入例)

会議/研修/面接/
イベント等



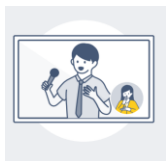
手話リレーサービス
(導入例)

金融機関のコール
センター等



遠隔手話通訳
(導入例)

行政窓口/
医療機関等



動画字幕や手話挿入
(導入例)

研修動画/サービス
紹介動画等



ツールの導入
(導入例)

社内会議/研修/
イベント

要件

目的	聴覚障害者とのコミュニケーション支援
通訳	手話／文字
形式	現地／オンライン
担当	手話通訳者／文字通訳者
備考	音声文字化アプリ等のツール導入支援も可

2025年9月期 第2四半期決算ハイライト

1. 会社概要

p2

2. 2025年9月期 第2四半期決算ハイライト p26

3. 市場環境と成長戦略

p34



2025年9月期 第2四半期 業績ハイライト

2025年9月期 第2四半期(2024年10月～2025年3月)における実績。

ミライロIDソリューション事業を中心に成長し、売上高、売上総利益、営業利益がいずれも過去最高を更新。

売上高

423百万円

前年同期比 110.8%

売上総利益

277百万円

前年同期比 112.6%

営業利益

81百万円

前年同期比 101.6%

四半期純利益

33百万円

前年同期比 29.1%

業績概要 トピックス

- ・ 売上高、売上総利益、営業利益が過去最高を更新
- ・ 純利益は上場関連費用や税効果会計の影響により減益
- ・ 「ミライロID」において補装具管理機能の提供を開始
- ・ 「ミライロID」対応の駐車場が100箇所を突破

損益計算書(2025年9月期 第2四半期累計)

売上高は前年同期比で10.8%増。特にミライロIDソリューションが前年同期比で40.5%増と高い成長率。

売上総利益率は前年同期比で1.0pt改善したものの、上場関連費用や税効果会計の影響により、経常利益、中間純利益は減益に。

(単位:千円)	2024年9月期 (2Q累計)		2025年9月期 (2Q累計)		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	382,607	100.0%	423,904	100.0%	110.8%
ミライロIDソリューション	116,651	30.5%	163,942	38.7%	140.5%
ユニバーサルマナー研修及び検定	173,408	45.3%	166,550	39.3%	96.0 %
コミュニケーションサポート	92,548	24.2%	93,411	22.0%	100.9%
売上原価	135,947	35.5%	146,132	34.5%	107.5%
売上総利益	246,660	64.5%	277,772	65.5%	112.6%
販売費及び一般管理費	166,309	43.5%	196,112	46.3%	117.9%
営業利益	80,350	21.0%	81,659	19.3%	101.6%
経常利益	79,767	20.9%	62,776	14.8%	78.7%
中間純利益	114,701	30.0%	33,413	7.9%	29.1%

※2024年9月期(2Q累計)に関しては、監査法人による監査及び監査レビューを受けておりません。

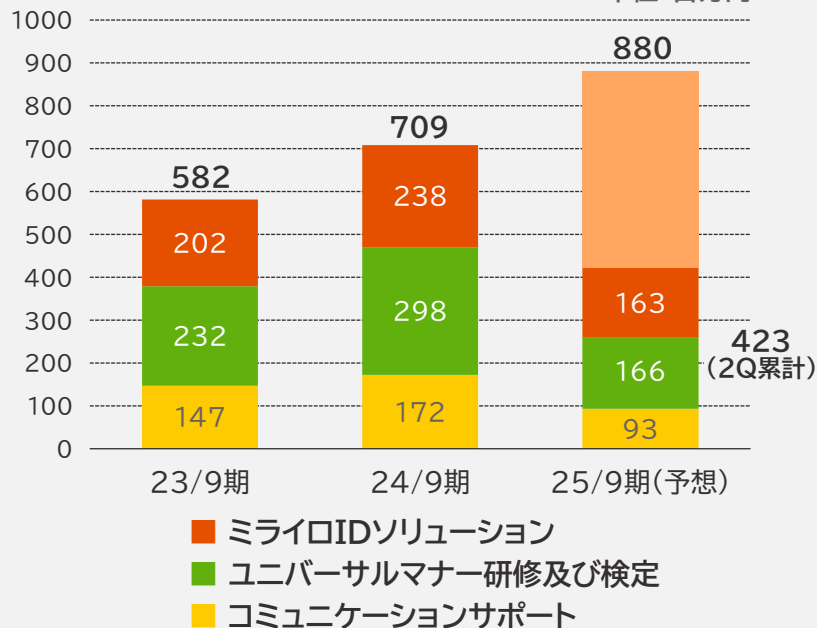
通期業績予想に対する進捗

第2四半期累計の売上高と営業利益は、通期予想に対して売上高は48%、営業利益は44%と順調に進捗している。

第3四半期以降も国際的なイベント開催に伴う外部環境の追い風もあり、顧客数や案件数のさらなる増加が期待できる。

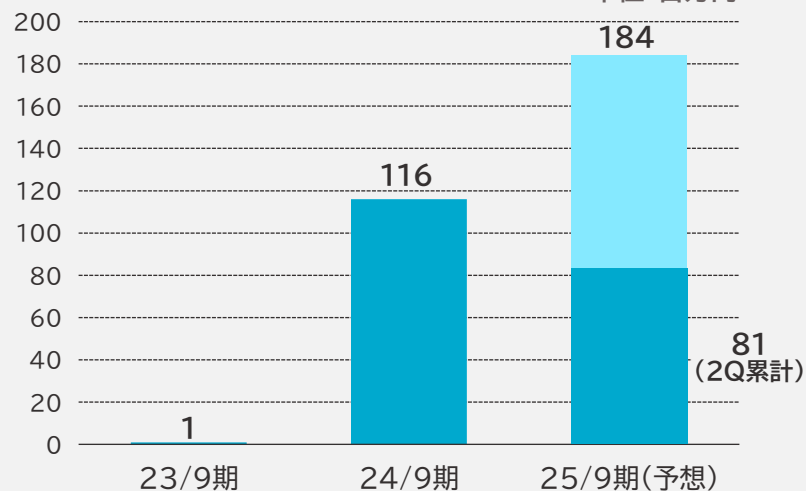
売上高

単位:百万円



営業利益

単位:百万円



貸借対照表(2025年9月期 第2四半期末)

第2四半期は株式上場に伴う新株発行等により現金及び預金が398,177千円、純資産が407,913千円増加。ミライロID等のシステム開発によるソフトウェアは10,388千円増加したものの、繰延税金資産が18,313千円減少したことで、固定資産は11,433千円減少。

(単位:千円)	2024年9月期	2025年9月期 (2Q累計)	前期末比増減
流動資産	538,854	964,886	+426,031
現金及び預金	421,763	819,940	+398,177
固定資産	161,963	150,530	-11,433
流動負債	232,559	256,338	+23,778
固定負債	131,231	114,137	-17,094
純資産	337,027	744,941	+407,913
負債・純資産	700,818	1,115,417	+414,593
(自己資本比率)	47.9%	66.8%	+18.9pt

トピックス①「ミライロID」において補装具管理機能の提供を開始

義肢や義足のフォローアップ機能を実装。

厚生労働省と協力し、増え続ける社会保障費の抑制を実現。不適切な使用による二次的障害や健康被害を防止する。



補装具の効果的なフォローアップを実現

補装具管理機能の提供を開始

MIRAIRO ID



トピックス②「ミライロID」対応の駐車場が100箇所を突破

QRコード機能を活用し、駐車場にて簡単に障害者割引を適用できるシステムを提供。
国土交通省と協力し、駐車場におけるバリアフリー化を推進。



ミライロID対応の駐車場

100達成!

箇所

ミライロIDのQRコード機能の活用で、
障害者割引がスムーズに。
障害がある方の利便性向上や、
事業者の負担軽減をさらに進めていきます。

<主な導入自治体>

福島県郡山市
千葉県千葉市
東京都中央区
東京都墨田区
東京都江東区
東京都目黒区
東京都世田谷区
東京都練馬区
東京都調布市
神奈川県横浜市
神奈川県川崎市
神奈川県平塚市
神奈川県藤沢市
神奈川県逗子市
神奈川県大和市
神奈川県足柄下郡箱根町
長野県上田市

愛知県名古屋市
滋賀県草津市
大阪府豊中市
大阪府大東市
大阪府和泉市
大阪府藤井寺市
大阪府東大阪市
兵庫県伊丹市
兵庫県豊岡市
兵庫県赤穂市
奈良県生駒市
岡山県岡山市
広島県広島市
広島県大竹市
広島県安芸郡府中町
福岡県福岡市
(25年3月時点)

2025年9月期下半期の重点施策

ミライロIDのユーザー数の拡大



自治体への発信を強化すること
をとおして、障害者への認知拡大
とユーザー数の増加を図る。

業種別の検定プログラムの展開



ユニバーサルマナー検定を基に、
各業界に特化したコンテンツの
構築と横展開を行う。

各業界での先進事例の創出



障害者雇用に関する業界毎の課
題を把握し、解決に向けて伴走す
ることで、新たな事例を創出。

市場環境と成長戦略

1. 会社概要

p2

2. 2025年9月期 第2四半期決算ハイライト

p26

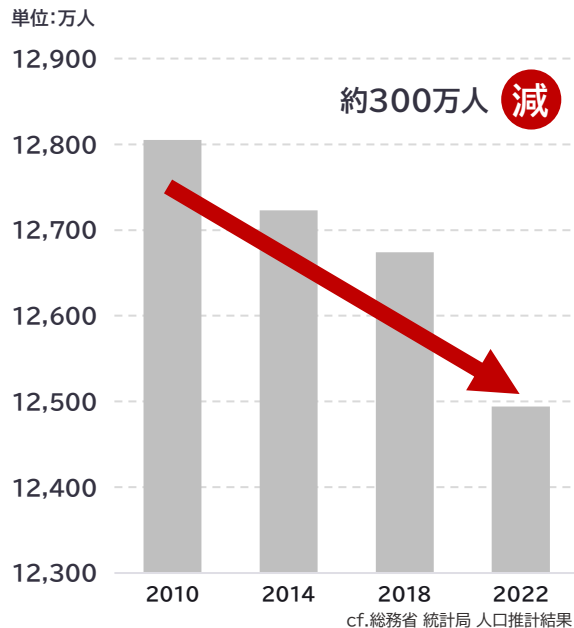
3. 市場環境と成長戦略

p34

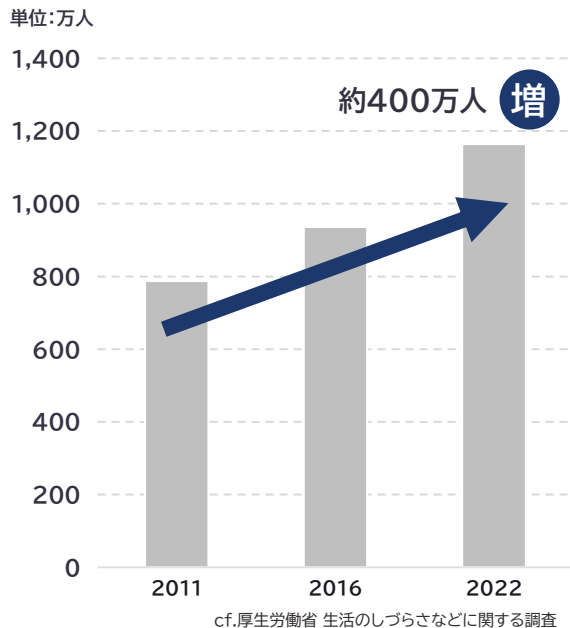
国内における総人口と障害者人口の推移

急速に人口減少が進む一方、障害者の人口は増加。法定雇用率の引き上げによって、雇用されている障害者数も右肩上がりに伸び続けている。法定雇用率が26年から2.7%に引き上げられるため、外出や消費意欲の高いアクティブな障害者がこれまで以上に増えていくことが見込まれる。

●総人口の推移



●障害者人口の推移



●雇用されている障害者数の推移



企業価値の向上

サステナビリティ活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs

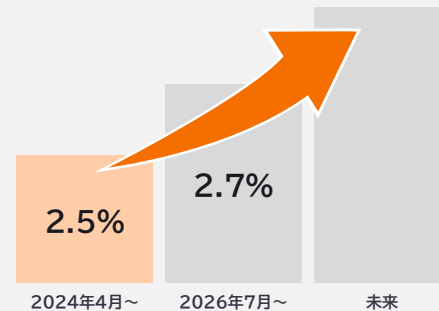
コンプライアンス

適切な合理的配慮の提供

	改正前	改正後
差別的禁止	法的義務	法的義務
合理的配慮	努力義務	法的義務

障害者差別解消法

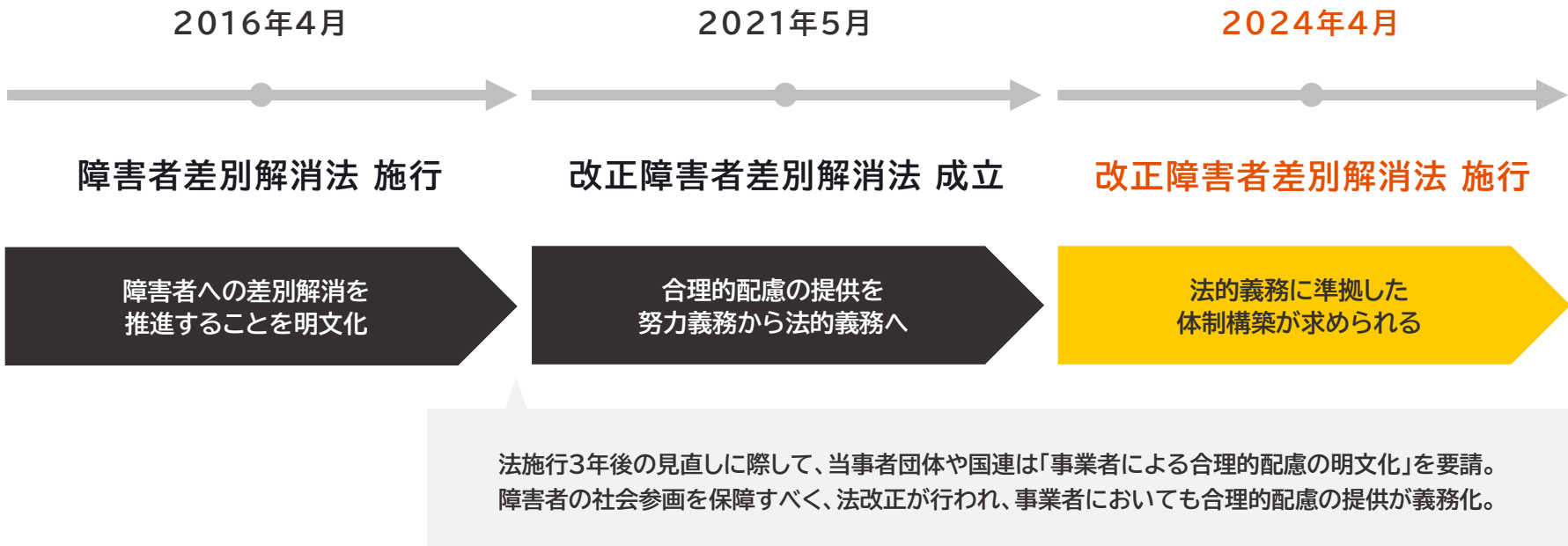
障害者法定雇用率の達成



障害者雇用促進法

障害者を対象とした取り組みは、コンプライアンスの観点からも重要性が増している

改正障害者差別解消法の施行



民間事業者において、合理的配慮の提供が努力義務から法的義務へ

過重な負担を軽減するミライロIDソリューションの可能性

ミライロIDを活かしたソリューション開発により、多様な障害者対応に関する負担やコストの削減が可能。
過重な負担がかからず、法的義務として合理的配慮の対応が必要な領域が拡大していく可能性がある。

事前的改善措置や 合理的配慮の対象

ex)
移動の介助を求められたら
座席までのご案内をする等

ミライロID(DX化) による範囲の拡大

ex)
低コストで導入可能な
障害者の認証や決済

過重な負担がかかるため これまでは合理的配慮の 法的対象外であったこと

ex)
障害者割引料金の
オンライン決済対応



障害者対応に関する新たな市場形成

法改正の認知拡大やDX推進後に推計される新たな障害者対応に関する市場は約3,150億円。

創業から10年で築いた専門的ソリューションと、唯一無二の障害者プラットフォームを組み合わせ、成長機会に繋げていく。

障害者雇用が課される
中小企業までを含めたTAM

約1兆円

法的対応が
要請される
約127,396
事業者※3



法令遵守に必要な
取組の平均単価
約820万円※4

● 新たな障害者対応市場

法改正の認知拡大やDX推進後の段階

約3,150億円

法的対応が
強く要請される
約22,182
事業者※1



大企業が
法令遵守に必要な
取組の平均単価
約1,420万円※2

● 現在のマーケット

CSRや社会的機運による取り組み段階

約260億円

法的対応が
強く要請される
約22,182
事業者※1



顧客平均単価
約118万円
(2024年9月期実績)

※1 従業員300名以上の法人数19,284社(令和3年 経済センサス-活動調査)、地方自治1,741(地方公共団体情報システム機構)、都道府県47、大学・短期大学1,110(文部科学省 令和6年度学校基本調査)の総数を対象としております。

※2 障害者対応状況を可視化する「ミライロ・サーベイ」の実施企業のうち、従業員300名以上の大企業73社において、診断結果で課題があった点に対する必要な取り組みにおける合計金額を個社ごとに算出し、その平均金額を記載しております。

※3 従業員50名以上の法人数124,498社(令和3年 経済センサス-活動調査)、地方自治1,741(地方公共団体情報システム機構)、都道府県47、大学・短期大学1,110(文部科学省 令和6年度学校基本調査)の総数を対象としております。

※4 障害者対応状況を可視化する「ミライロ・サーベイ」の実施企業(中小企業含む)である約190社において、診断結果で課題があった点に対する必要な取り組みにおける合計金額を個社ごとに算出し、その平均金額を記載しております。

従業員教育・DEIの風土形成における市場性

障害者対応に関する市場の中で、従業員教育や風土形成の市場だけを見ても、必要に迫られている事業者に勤める従業員や職員のうち、ユニバーサルマナー検定の認定者は1%程度に留まっており、成長余地は大きい。

● 新たな障害者対応市場

法改正の認知拡大やDX推進後の段階

約3,150億円

従業員教育・
DEIの風土形成

手話や文字等の
情報保障対応

障害者向けの
マーケティング

施設における
環境整備

WEBやアプリ等の
アクセシビリティ対応

障害者に関する
認証及び決済

ユニバーサルマナー検定
累計認定者数

約27万人(1%程度)

※2025年3月時点

法的対応が強く要請される事業者の従業員や職員数

約2,740万人

大企業の従業員数

約2,404万人 ※1

官公庁の職員数

約339万人 ※2

※1 「令和3年経済センサス-活動調査」における従業者300人以上の事業者における従業者数

※2 人事院「令和6年度 国家公務員の数と種類」における国家公務員と地方公務員の総数

ミライロIDの成長ポテンシャル



障害者手帳所持者の内、ミライロID内の手帳登録者は約5%
アクティブな障害者やその家族を中心に、今後さらなる利用が見込まれる

※1 手帳登録者数は、2024年12月時点におけるミライロIDユーザーのうち、障害者手帳の有効期限切れなどの不備がなく障害者手帳情報を登録している人数です。

※2 厚生労働省「令和4年生活のしづらさに関する調査」

※3 世界保健機関「World report on disability」

ステージ別の顧客イメージとミライロIDソリューションの成長ポテンシャル

現在
24/9期
実績

顧客数 192社 × 1社あたり取引額 上位5社：11百万円 平均：1百万円 = ミライロIDソリューション 売上：238百万円

意識変化やプラットフォームの拡大に伴い、顧客数の増加や複合的なソリューション利用による単価の向上など、成長余地は大きい。

ステージ別の顧客イメージ

ソリューション

A1層
「法令遵守」



業界標準に合わせて
最低限の取り組みは実施

- ・ 障害者差別解消法への対応や法定雇用率の達成をしないといけない
- ・ 障害者からのクレームを受けてしまった
- ・ 他企業と同水準の取り組みは行いたい

リサーチ及びコンサルティング

A2層
「想い・考えに共感」



目指す考えに共感し、
段階的に取り組みを推進

- ・ ミライロIDを認知し、障害者やその家族などの多様な人々も重要な顧客や従業員と考え、発信を行っている
- ・ CSRではなく、ビジネスとして出来ることから取り組んでいる

システムの連携及び開発

マーケティング支援

A3層
「社会性と経済性を両立」



社会性と経済性が両立し、
継続的な取り組みを実施

- ・ 業界内でも先進的な取り組み(ミライロID連携等)を進め、積極的に発信や投資をしている
- ・ 障害者雇用における戦力化に成功し、独自のモデルを形成している
- ・ 専属の担当部門が配置されており、継続的に取り組んでいる

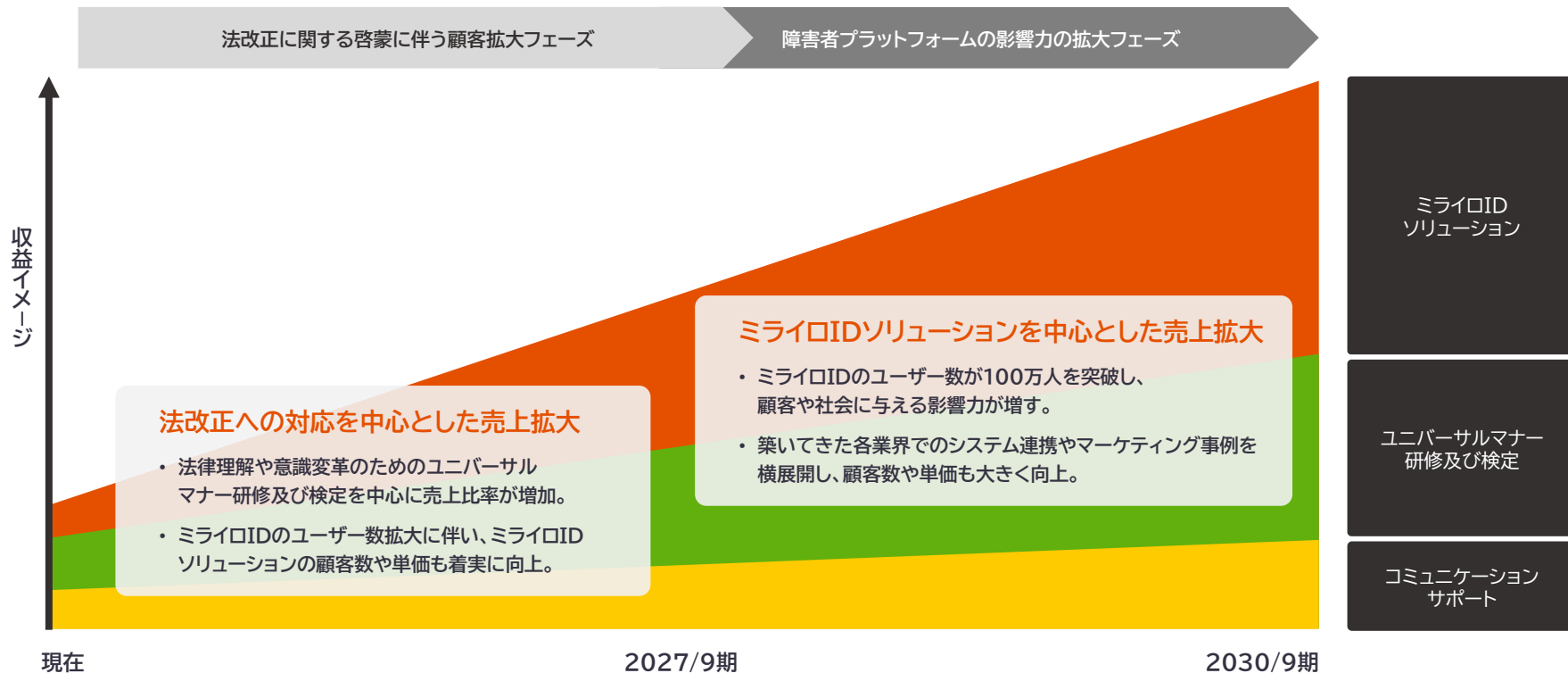
リサーチ及びコンサルティング

システムの連携及び開発

マーケティング支援

中長期の成長イメージ

収益性の高いミライロIDソリューションとユニバーサルマナー研修及び検定を中心に売上割合が増加。
プラットフォームやシステムを軸とした収益向上を目指すことで、高い限界利益率を実現。





ユニバーサルマナー検定
認定者数1,000万人

ミライロID
グローバル展開



大阪本社…大阪市淀川区西中島三丁目8番15号
東京支社…東京都品川区東五反田五丁目26番5号

株式会社ミライロでは「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害のある方が利用する
スクリーン・リーダー(コンピュータの画面読み上げソフトウェア)では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があります。
「障害は人ではなく環境にある」という考えのもと、表記のみにとらわれず、社会における「障害」と向き合っていくことを目指します。